



2020年5月13日

各 位

会 社 名 ラサ商事株式会社
代表者名 代表取締役社長 井村 周一
(コード：3023 東証第一部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 窪田 義広
(TEL. 03-3668-8231)

(訂正・数値データ訂正)「2020年3月期 第1四半期決算短信[日本基準] (連結)」の一部訂正について

当社は、2019年7月31日に開示いたしました「2020年3月期 第1四半期決算短信[日本基準] (連結)」の一部を訂正いたしましたのでお知らせします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正の内容

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2020年5月13日)付「過年度の有価証券報告書等の提出及び過年度の決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正の理由

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には____を付して表示しております。

以 上



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場会社名 ラサ商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3023 URL http://www.rasaco.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井村 周一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 窪田 義広 (TEL) 03(3668)8231
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,357	△7.9	309	32.4	372	45.3	242	13.5
2019年3月期第1四半期	6,904	13.1	234	97.4	256	77.8	214	139.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 219百万円(1.7%) 2019年3月期第1四半期 215百万円(90.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	20.96	—
2019年3月期第1四半期	17.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	30,415	15,617	51.3
2019年3月期	31,529	15,607	49.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 15,617百万円 2019年3月期 15,607百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	16.50	—	17.50	34.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,000	△5.2	500	△21.9	575	△18.4	390	△26.3	33.65
通期	32,000	0.8	1,900	△6.4	2,100	△7.3	1,460	△10.5	125.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	12,910,000株	2019年3月期	12,910,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,318,450株	2019年3月期	1,318,450株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	11,591,550株	2019年3月期1Q	12,483,635株

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で米国と中国の通商問題の影響の拡大及び長期化からもたらされる中国経済をはじめとする世界経済の不確実性や、金融市場の変動が引続き懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような経済状況のもとで当社グループは、営業活動の積極的な展開に努めましたが、中国経済の減速等による先行き懸念に加え、前年同四半期の反動もあり、主に資源・金属素材関連や産機・建機関連等で減収となったことを受けて、売上高は63億57百万円となり、前年同四半期と比べ5億46百万円(△7.9%)の減収となりました。

営業利益におきましては、売上は減収したもののプラント・設備工事関連が堅調であったことから3億9百万円となり、前年同四半期と比べ75百万円(32.4%)の増益となりました。

経常利益におきましては、営業利益に加え営業外利益も前年同四半期に比べ増益となったことから3億72百万円となり、前年同四半期と比べ1億16百万円(45.3%)の増益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益におきましては、経常利益の増益から2億42百万円となり、前年同四半期と比べ28百万円(13.5%)の増益となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は、次のとおりです。

資源・金属素材関連では、売上高はジルコンサンドは前期並みだったものの、輸入原料及び金属シリコンの商品市況が弱含んだことなどから20億28百万円となり、前年同四半期と比べ4億38百万円(△17.8%)の減収となりました。また、売上減少からセグメント利益は68百万円となり、前年同四半期と比べ34百万円(△33.7%)の減益となりました。

産機・建機関連では、民間の設備投資の弱さが続く中、各種ポンプの販売は概ね前期並みを維持したものの、前期堅調であった海外向けシールドの販売が今期は軟調に推移したことなどから、関連部門の売上高は13億37百万円となり、前年同四半期と比べ3億3百万円(△18.5%)の減収となりました。また、売上減収からセグメント損失は70百万円(前年同四半期は39百万円の損失)となりました。

環境設備関連では、前期第1四半期に大型案件があった反動から関連部門の売上高は2億80百万円となり、前年同四半期と比べ2億24百万円(△44.4%)の減収となりました。また、売上減収からセグメント損失は16百万円(前年同四半期42百万円の利益)となりました。

プラント・設備工事関連では、比較的大型の工事の完工が進んだことなどから関連部門の売上高は11億79百万円となり、前年同四半期と比べ5億87百万円(99.1%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は2億57百万円となり、前年同四半期と比べ1億94百万円(308.7%)の増益となりました。

化成品関連では、引続き自動車関連製品の競合が厳しい状況に加え、電線業界向けの合成樹脂の需要も弱含んでいることなどから関連部門の売上高は14億83百万円となり、前年同四半期と比べ1億60百万円(△9.7%)の減収となりました。また、売上減収からセグメント利益は29百万円となり、前年同四半期と比べ5百万円(△15.6%)の減益となりました。

不動産賃貸関連では、賃貸物件の買換えによる高付加価値化の進展から関連部門の売上高は88百万円となり、前年同期と比べ2百万円(2.7%)の増収となりました。また、買換えに伴う経費の減少からセグメント利益は47百万円となり、前年同四半期と比べ16百万円(52.6%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は304億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億14百万円の減少となりました。

(流動資産)

流動資産は183億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億14百万円の減少となりました。

これは主に、現金及び預金で6億40百万円の増加があった一方で、受取手形及び売掛金で11億21百万円、完成工事未収入金で6億20百万円の減少があったことによるものです。

(固定資産)

固定資産は120億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億円の減少となりました。

これは主に、保険積立金で1億24百万円、投資有価証券で54百万円の減少があったことによるものです。

(流動負債)

流動負債は106億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億77百万円の減少となりました。

これは主に、短期借入金で3億70百万円の増加があった一方で、支払手形及び買掛金で11億54百万円、未払法人税で3億63百万円の減少があったことによるものです。

(固定負債)

固定負債は41億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億46百万円の減少となりました。

これは主に、長期借入金で1億42百万円の減少があったことによるものです。

(純資産)

純資産は156億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円の増加となりました。

これは主に、その他有価証券評価差額金で23百万円の減少があった一方で、利益剰余金で34百万円の増加があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月13日付の2019年3月期決算短信で公表いたしました2020年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,315	3,955
受取手形及び売掛金	7,559	6,438
電子記録債権	1,647	1,911
完成工事未収入金	1,902	1,281
商品及び製品	2,956	2,690
未成工事支出金	1,504	1,913
原材料及び貯蔵品	8	7
その他	374	152
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	19,253	18,339
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,435	4,434
減価償却累計額	△2,430	△2,458
建物及び構築物（純額）	2,004	1,976
機械装置及び運搬具	425	435
減価償却累計額	△365	△370
機械装置及び運搬具（純額）	59	64
土地	6,006	6,006
その他	1,616	1,617
減価償却累計額	△1,539	△1,546
その他（純額）	76	71
有形固定資産合計	8,147	8,119
無形固定資産		
ソフトウェア	35	31
ソフトウェア仮勘定	81	82
その他	0	0
無形固定資産合計	117	113
投資その他の資産		
投資有価証券	3,071	3,016
繰延税金資産	72	82
保険積立金	688	563
その他	186	186
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	4,010	3,842
固定資産合計	12,276	12,076
資産合計	31,529	30,415

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,350	3,195
電子記録債務	969	980
工事未払金	374	329
短期借入金	2,999	3,370
1年内返済予定の長期借入金	1,160	1,062
未払法人税等	511	147
賞与引当金	337	151
その他	906	1,395
流動負債合計	11,610	10,632
固定負債		
長期借入金	3,647	3,505
繰延税金負債	303	301
退職給付に係る負債	85	78
役員株式給付引当金	49	71
その他	227	208
固定負債合計	4,312	4,165
負債合計	15,922	14,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,076	2,076
資本剰余金	2,378	2,378
利益剰余金	11,957	11,992
自己株式	△1,037	△1,037
株主資本合計	15,374	15,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	236	213
繰延ヘッジ損益	△4	△5
その他の包括利益累計額合計	232	208
純資産合計	15,607	15,617
負債純資産合計	31,529	30,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	6,904	6,357
売上原価	5,614	5,025
売上総利益	1,290	1,331
販売費及び一般管理費	1,055	1,021
営業利益	234	309
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	25	24
受取家賃	10	10
保険解約益	9	33
その他	10	21
営業外収益合計	55	90
営業外費用		
支払利息	8	9
保険解約損	20	17
その他	3	1
営業外費用合計	33	28
経常利益	256	372
特別利益		
固定資産売却益	75	—
投資有価証券売却益	—	2
特別利益合計	75	2
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	—	2
特別損失合計	0	2
税金等調整前四半期純利益	331	372
法人税等	117	129
四半期純利益	214	242
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	214	242

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	214	242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△23
繰延ヘッジ損益	△0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	1	△23
四半期包括利益	215	219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215	219
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
外部顧客への売上高	2,467	1,640	504	592	1,643	55	6,904
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	—	—	—	30	30
計	2,467	1,641	504	592	1,643	85	6,934
セグメント利益 又は損失(△)	102	△39	42	62	34	30	233

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	233
その他	0
四半期連結損益計算書の営業利益	234

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
外部顧客への売上高	2,028	1,336	280	1,170	1,483	57	6,357
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	—	9	—	30	40
計	2,028	1,337	280	1,179	1,483	88	6,397
セグメント利益 又は損失(△)	68	△70	△16	257	29	47	313

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	313
その他	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	309

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載事項はありません。

3. 参考情報

個別業績の概要

(百万円未満切捨て)

2020年3月期第1四半期の個別業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益 又は 営業損失(△)		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,646	△21.0	△19	△118.6	41	△70.1	28	△68.3
2019年3月期第1四半期	4,613	20.9	105	389.9	138	148.5	88	167.5

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第1四半期	2.41	—	—	—
2019年3月期第1四半期	7.06	—	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2020年3月期第1四半期	18,642		12,507		67.1	
2019年3月期	20,241		12,710		62.8	

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 12,507百万円 2019年3月期 12,710百万円